

丸忠建工株式会社

環境経営レポート

対象期間：令和5年9月1日～令和6年8月31日



R6年 10月 15日 発行

表紙

1

目次（ページ番号）	2
1.会社概要	3
2.組織図	4
3.産業廃棄物事業の区分と廃棄物の種類/許認可の取得状況	5
4.丸忠建工産業廃棄物フロー図	6
5.環境経営方針	7
6.SDG s の取組	8
7.環境活動計画の目標と実施・次の課題	9
8.活動紹介	10
8.活動紹介（地域貢献活動）	11
9.環境関連法規等の遵守状況の確認及び訴訟の有無	12
10.代表者による見直しと指示	13

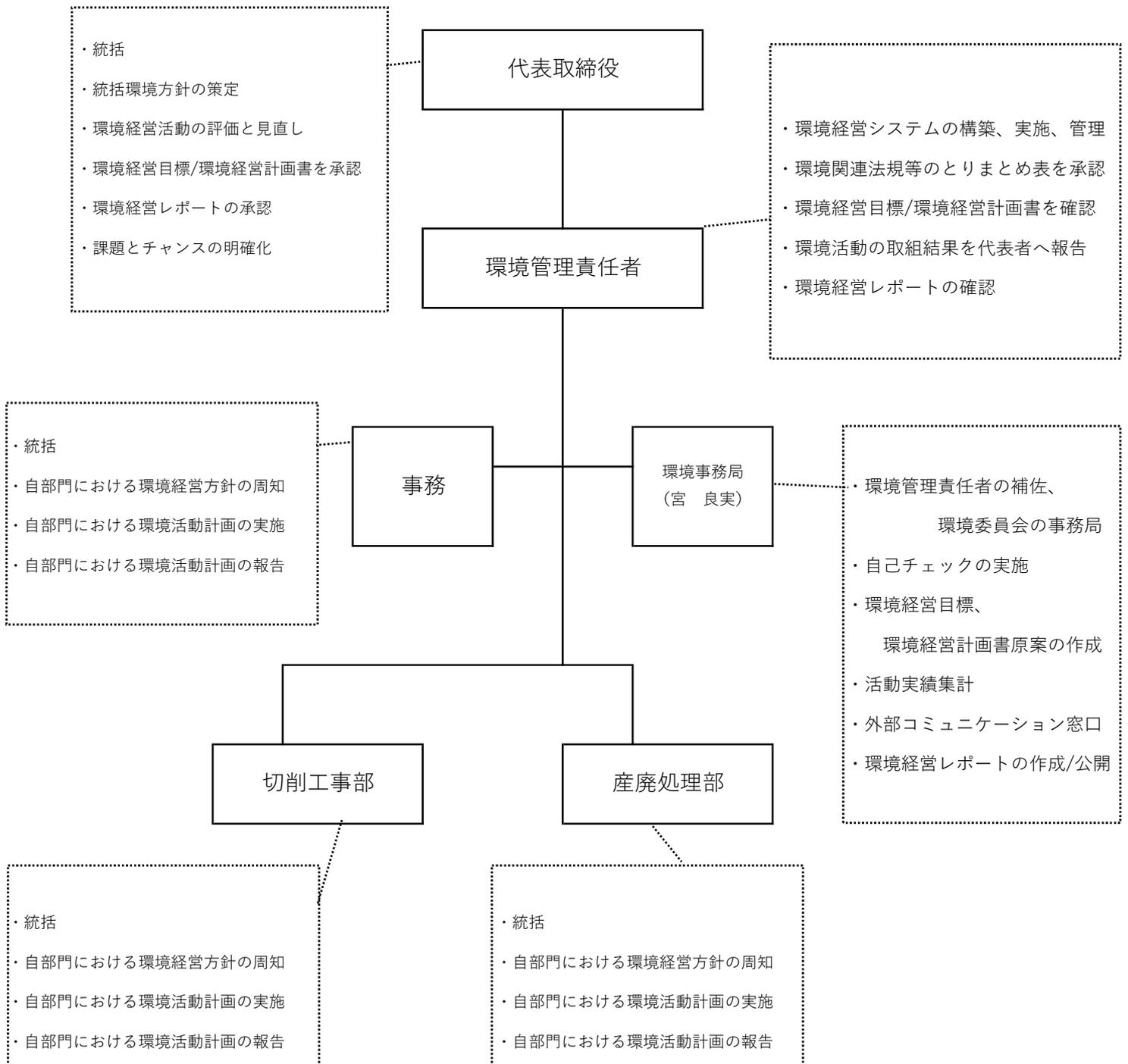


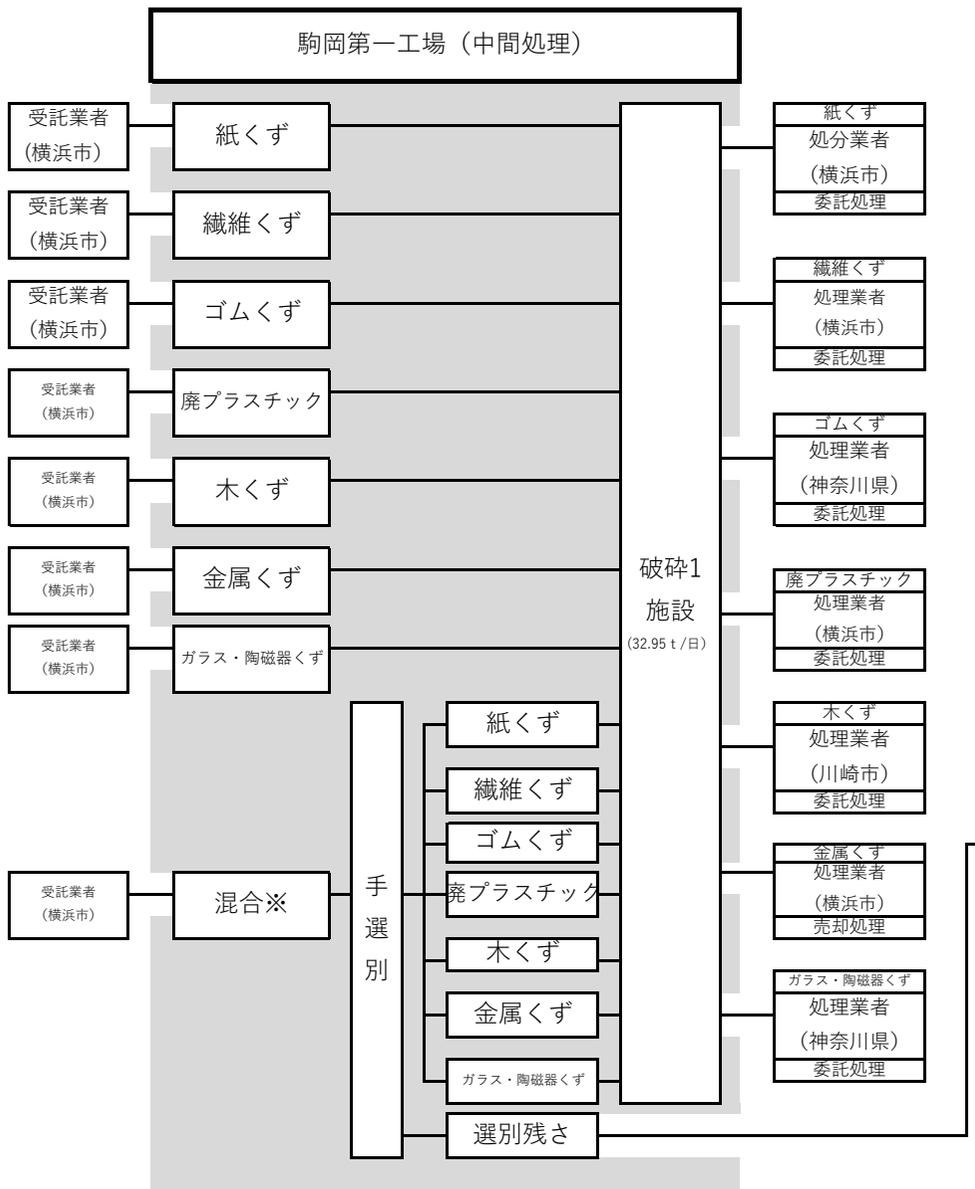
1. 会社概要

会社名	丸忠建工株式会社／Maruchukenkou Co. Ltd		
代表者氏名	鈴木 哲也		
本社・駒岡工場	神奈川県横浜市鶴見区駒岡二丁目13番7号 TEL045-582-4122 FAX：045-582-4480		
獅子ヶ谷工場	神奈川県横浜市鶴見区獅子ヶ谷二丁目34番16号		
重機駐車場	神奈川県横浜市鶴見区獅子ヶ谷3-7		
設立年月日	1996（平成8）年9月18日		
資本金	1,000万円		
従業員数	25名		
事業内容	産業廃棄物収集運搬/産業廃棄物処理/一般廃棄物収集運搬/舗装工事 路面切削工事/公共事業（一般道路・高速道路）/民間工事（工場内等）		
所属団体	横浜建設業協会（鶴見区会）/鶴見区火災予防協会/横浜建設業青年会/鶴見法人会		
売上高	R5.9~R6.8	:	63477 万円
受託した産業廃棄物量	収集運搬量	:	1213.38 t
	中間処理量	:	2424.31 t
	中間処理後の 産廃処分量	:	2157.93 t（うち再資源化量：2037.93）
受託した一般廃棄物量	企業系一般廃棄物		
	可燃ごみ	:	55.18 t
	不燃ごみ	:	1.24 t
施設情報	駒岡工場	:	保管面積243.47㎡/最大保管量272.65㎡
	獅子ヶ谷工場	:	保管面積150.71㎡/最大保管量149.21㎡
	獅子ヶ谷工場 積替え保管	:	保管面積34㎡/最大保管量39㎡
	重機駐車場	:	面積/1,000㎡
所持車両一覧	切削 （重機含め21台）	W2100/W210/W350/W35DC/W35XRI/CRP100（×2） /CRP120/ER552（×4）/スーパー（×3）/セルフロー ダー（×2）/2t給水車/4t散水車（×2）/4tアーム	
	産廃 （重機含め18台）	Wキャブ/2tユニック（×2）/3tダンプ/バッカー車（×3） /アームロール（×2）/パワーゲート/平ボディ/4tダンプ/ 軽ダンプ/フォークリフト/ユンボ（×2）/ミニユンボ/ショベル	
	営業・他（4台）	スズキ/ポルテ/アルトG/デリカ	
対象範囲	全社全事業		
環境管理責任者	宮 良実		

2.組織図

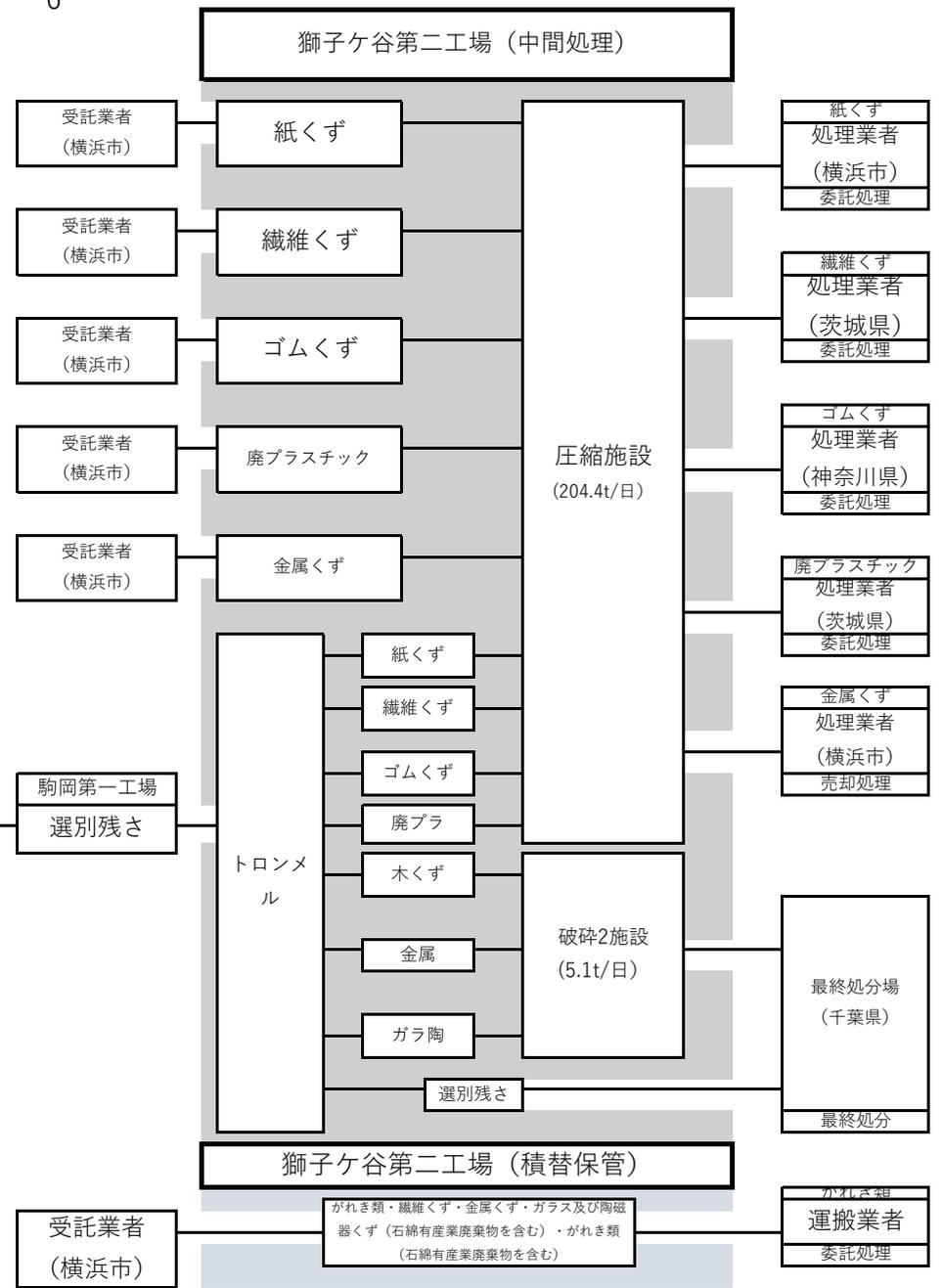
2019/11/1 作成 環境事務局





※混合7品は下記のとおり
紙くず、繊維くず、ゴムくず、廃プラスチック、木くず、金属くず、ガラス陶磁

※トロンメルにて再度選別後の木くず・金属くず・ガラス陶磁器くずに関しまして、持込先（最終処分先）の規定（19cmunder）に則り、また埋立処分として出来るだけ細かくし、隙間なく行う必要がある為破碎2施設にて再度破碎を行い、順応させるものとする。



がれき類 (石綿含有産業廃棄物)
処分量者
委託処分

繊維くず 処理業者 委託処分

金属くず 処理業者 売却処分

ガラ陶 処理業者 委託処分

5.環境経営方針

基本理念

私たち丸忠建工株式会社は、産業廃棄物収集運搬業者及び道路切削工事業者として、自らの事業活動が環境に与える影響・負荷の度合いを明確に認識し、環境保全と汚染予防に努め、全社員一丸となって継続的な改善活動に取り組んでまいります。そして小さな輪からすこしずつ活動を広め、環境問題にかかわる企業だけでなく、どんな企業も環境問題に積極的に活動できるよう情報共有や発信をしていきたいと考えます。

行動指針

- 1 事業活動全般において環境負荷を低減するため、エコアクション21に基づく環境経営システムを構築し、次の事項を重点的に取り組みます。
 - (ア) 産業廃棄物の適正処理及びリサイクル率の向上
 - (イ) 省エネ活動による二酸化炭素排出量の削減
 - (ウ) 水使用量の削減
 - (エ) 活動における報告と発信課題となった項目は都度考え、改善方法を話し合い、より良くなるよう継続的に行う
- 2 環境関連法規を遵守します
- 3 社員全員が環境経営システムに対する理解を深め、かつ行動できる様に心掛けます
- 4 環境経営レポートを作成し、取組状況を公表します。



制定日：2019年11月1日

改定日：

代表取締役 **鈴木 哲也**

6.SDG s の取組

テーマ	取組	SDG s の目標
男女を問わず多様な人たちが共に活躍できる会社	働き方改革、女性の活躍推進、ワークライフバランスの推進、テレワーク補助、よこはまグッドバランス賞取得、自社ハラスメント窓口設置	    
事業活動を通して、持続可能な社会の実現	産業廃棄物部門/産廃・一般廃棄物・リサイクルにおける分別等企業向け営業、中間処理場での分別処理、水質維持、清掃業務 切削部門/道路切削、集塵機の使用、車道清掃	      
エコアクション21等の環境への取り組みを通して環境負荷の低減	エコアクション21、y-SDG s の取得、エコドライブ実施、低排ガス車両の入替、営業車両の燃費報告	     
環境事業への進出	環境部門設立、海洋プラスチック問題への啓発活動、研究活動、地域のこどもたちを対象にした教育活動	  
ボランティア活動を通して地域・社会貢献の取組	地域のお祭り参加、協賛、鶴見川美化サポーター、ゴミ0運動参加、アースアワープロジェクトへの参加、地域貢献企業10年認証、市内中学校の職業体験への参加	   

SDGs活動について

- ・会社がどのような活動をしているか、どう考え、何を指針にしているかを明確にし、社員に呈示していく事で会社全体、社員のみならず、家族や友人にもSDG s への理解が深まるよう周知していく
- ・産業廃棄物/道路切削工事等、弊社の強みを生かした活動を常に模索し行動していく
- ・全員が働きやすいと思える職場環境づくりを目指して取り組む

7.環境経営目標・環境計画、その実績及び次年度の環境経営目標と計画

評価記号区分：◎→十分達成できた/○→目標値/×→達成できなかった

環境目標	評価項目	2029年 (33期)	2021.9.1~ 2022.8.31	2022.9.1~2023.8.31 (27期)	2023.9.1~2024.8.31 (28期)				2024.9.1~2025.8.31 (29期)		
			実績	実績	数値目標	活動内容	実績	評価	目標	担当	活動計画
受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮に関する項目	リサイクル率	前年度より2%向上	92.60%	93.40%	前年度より2%向上 95.40%	①フロー図の見直しや排出事業者に対するの分別対策が今後も重要 ②排出業者に対するの分別勉強会を実施 更なる分別の理解と実行を望む 目標値とまではいかなかったが、前年度の数値を上回った。	93.63%	×	前年度より2%向上	安部	得意先に意識して分別を促し、こちらからの分別に対する情報提供が重要になっていくと思われる。
廃棄物排出量の削減	ゴミの排出量	前年度より2%削減	87.9	83.7 k g	前年度より2%削減 82.0 k g	シュレッダーゴミの徹底 裏紙活用 ゴミを小さくまとめる 社内講習の実施 簡易包装配達を利用する 自分たちが排出したゴミの量を目に見える形にして周知をはかった	81.6	○	前年度より2%削減	宮	シュレッダーゴミの徹底 裏紙活用 ゴミを小さくまとめる 継続して行っていく
二酸化炭素排出量の削減 (電気の二酸化炭素排出係数は0.455kg-co2/kwh)	電気使用量	前年度より2%削減	48189	43927Kwh	前年度より約2%削減 43048Kwh	工場内LED化・事務所の全面LED化が強く影響していると思われる。 エアコンの予約機能やフィルターの清掃による空調管理等	41896 Kwh	○	前年度より2%削減	宮 山南	他電力の消費量等も見て、減らせるところを探していく
	ガソリン使用量	前年度より1%削減	706.96	1016.65 ℓ	前年度より1%削減 1006.5 ℓ	営業の体制を見直した為、今後はこちらの数値が基準になっていく。 アイドリングストップ・エコドライブを徹底していく	1412.7	×	前年度より1%削減	宮 山南	車両の年譜を目に見える形で表示する事で更なる意識向上、共有をはかっていきたい
	軽油使用量	前年度より1%削減	92830	112,086 ℓ	前年度より1%削減 110,965 ℓ	・ドライバーズ会議での周知は全員の意識付けに役立った。 ・エコドライブ向けの講習などに参加する ・高速道路の使用率や、車両の燃費等も視野に入れ全体を減らしていく	109,363	○	前年度より1%削減	宮 山南	車両の年譜を目に見える形で表示する事で更なる意識向上、共有をはかっていきたい
	二酸化炭素排出量	前年度より1%削減	263067 Kg-CO2	311,536 Kg-CO2	前年度より1%削減 308,420 Kg-CO2	・売上げの増加に伴いガソリン/軽油等の使用量が上がった事も影響する ・売上げとの比較表を作成し、話し合いをする	302538. 33 Kg-CO2	○	前年度より1%削減	宮 山南	ガソリン・軽油の使用量を減らす事を目標に使用量の見える化を進め、全体の二酸化炭素排出量を減らしていく
水使用量の削減	水使用量	前年度より1%削減	1214m ³	1,598m ³	前年度より1%削減 1,582m ³	使用量の見える化/節水の呼びかけを徹底/清掃時等、出しっぱなしの禁止等を呼びかけた	1,404	○	前年度より1%削減	宮 山南	引き続き節水の呼びかける。
グリーン商品購入の拡大	品目数	30品目	29品目	29品目	30品目	継続して購入品はグリーン商品を多く使用している プリンターのカートリッジ等をリサイクル品に変更	30	○	30品目	宮 山南	継続して行っていく 名刺やパンフレットも変えていきたい
大気汚染防止活動	集塵機稼働数	30件	41件	21件	30件	チラシを作成し、元請け等にお話。また、機械のカatalog等を送る際にも、一緒に添付した。積極的に使ってくれる所は長期間、またはリピートして使用していただけるようになった。	21	×	30件	宮	元請けの現場代理人(担当者)にアプローチをしていく

8.活動紹介

電力・水 使用削減

工場・ヤード内に引き続き、R5.5事務所内も全面LEDとした
使用しないPCは電源から抜く様にしている



ゴミの削減

- ・ ペットボトル分別（フィルムは剥がしてプラゴミ、キャップを集める等）を推進
- ・ 福利厚生でお茶やコーヒーを（ペットボトルや缶の購入を減らす）
- ・ 紙やクリアファイルの再利用/詰め替え用品の積極的な活用
- ・ 事務は一人1台タブレット端末を支給、メモ等の紙を少なく、データ上のやりとりを意識する
- ・ PCと接続可能な電子ホワイトボードを会議室に設置、会議資料などの紙を削減



8.活動紹介

環境への取組

車両・重機の排ガス規制対応車購入・入替

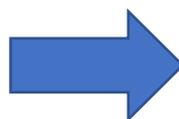
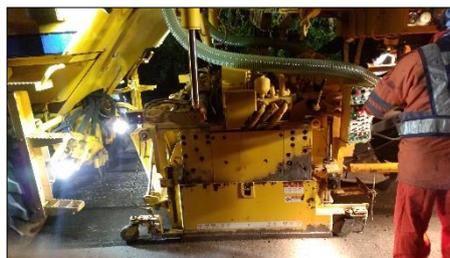
古くなり燃費が悪くなった車両を、低燃費・排ガス適合の車両へと入れ替え

新規車両購入（35XRi/ER552III）



古い機械を売って、新しい機械を導入
ER552IIIには弊社独自で集塵機を取付

道路切削時における粉塵等の環境被害低減の為、ホイール式切削機に集塵機を取付



路面切削時に発生するコンクリートの塵、破片を強力な吸引により舞う前に吸収し、周囲の粉塵の約98%の低減に成功した（※自社測定）

オペレーターをはじめ、近隣住民の健康被害・近隣の環境被害防止に大きく貢献している。

弊社では現在ホイール式切削機の3台に独自で集塵機を取付けており、既に集塵機が内臓されている切削機とあわせて5台の切削機が集塵機付きとなっている。



8.活動紹介

SDG s な活動

①環境活動への積極的な参加

- ・海ゴミゼロウィークへの定期的な参加
- ・鶴見川美化サポーター（鶴見駅周辺清掃）



②近隣学校の活動協力

- ・近隣中学校の職業体験協力
- ・私立高校よりSDG s についてインタビュー依頼
- ・横浜市内小学校低学年への工場見学



③公式LINEの活用

・一般廃棄物排出事業者向けに丸忠建工の公式LINEを作成
そこから収集の予約や袋の注文等が出来るだけでなく、
廃棄物クイズや分別の方法、出し方がわからないゴミの問い合わせ
窓口等様々な事が出来、廃棄物を知ってもらう普及活動にも
貢献している



④紙クリアファイルの作成

・「プラスチックゴミを取引先に出させない工夫」がテーマ
他社に送る書類等、今までのプラスチック製のクリアファイルとは違い、
紙としてリサイクルできる紙製のクリアファイルを採用した。
「森林認証紙」を使用



8.活動紹介

防災訓練・レクリエーション・緑化活動

工場内火災を想定した防災訓練の実施（年1回）



事務員向け詐欺メールについての講習会、運転者向け車両メンテナンス講習会
機械システムの講習会 等



丸忠ファームの開拓



今年もたくさんのお花が咲きました！

Y-SDG s 文化祭でいただいたブルーベリーの苗木も仲間入り

8.活動紹介（地域貢献活動）

地域貢献活動

青色回転灯防犯パトロール

地域住民で行う自主防犯パトロールを継続して行っている



近隣小学校見守りパトロール

地域貢献の一環として、近隣小学校の下校を見守るパトロールに参加している
短い距離ではあるが、こどもの安全を守る手伝いを続けている。



区内祭り参加

磯子区と鶴見区のお祭りに参加

弊社の大型機械と子供たちがふれあった



9.環境関連法規等の遵守状況の確認

確認日2024.9.10 安部・宮

法規等の名称	該当する要求事項 (対応すべき事項)	遵守評価	
		証拠	判定
産業廃棄物書類	委託基準：一廃収集業者の許可の確認	許可証	○
	(一廃) 事業許可証の有効期限、契約書有効期限	許可証	○
	(産廃) 事業許可証の有効期限、契約書有効期限		○
	(産廃) マニフェストの交付を受けずに産廃の引渡しの受託の禁止		○
	産業廃棄物の収集運搬時マニフェスト・許可書の必携		○
	最終処分場の構造基準・維持管理基準の遵守		最終処分場無し
	施設の定期検査及び維持管理情報公開		○
	積替え保管基準の遵守		○
	委託基準：産廃収集運搬・処理業者の許可の確認、契約		契約書 許可証
	・保管基準 掲示板60cm×60cm以上表示 飛散・浸透防止 衛生管理		○
	・マニフェスト交付 B2/D票90日、E票180日以内に送付されない場合は30日以内の知事への報告 A、B2、D、E票の保管（5年間）	マニフェスト	○
	・産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	報告書	○
	処理状況について確認の努力義務		○
	自社による運搬時の表示、書類携行		○
騒音規制法	特定施設の事前届出	新設（有無）	○
	地域別騒音基準の遵守	届出書	○
消防法	危険物 軽油自家給油施設・危険物取扱者免状	届出書	○
	消防設備	点検報告書	○
No x ・PM法	対策地区内で排気ガス規制に適合した自動車の使用	車検証	○
フロン排出抑制法	定期的な点検・漏洩対応・記録の保管・報告	管理者による 定期点検記録	○
グリーン購入法	できる限り環境物品等を選択するよう努める		○

違反・訴訟の有無

環境関連法規等の遵守状況の評価の結果関連法規等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去5年間ありませんでした。

10.代表者による見直しと指示

エコアクションを始めて4年、今年度で2回目の更新となる。

活動を始め、改めて見直す点や、継続して行うべき事ははっきりとしてきた。PDCAサイクルの構築は問題無く根付いた様に感じた。

結果としては、ここ2年で各部署の体制が大きく変わった事もあり、昨年の中間監査と同じく変動が大きく見られる。今後はこの結果を軸に再度ガソリンの削減、水使用等を減らしていきたい。

また、リサイクル率については目標達成には至らなかったものの、前年度を上回る結果となり継続して営業担当からの分別搬入の啓発を行っていきたい。

全体の売り上げから見ても前年比1.6%の上昇にも関わらず、電気使用量・軽油使用量においては目標値を上回る結果になったのも、日頃の意識と努力の結果が見られた。

今期目標達成とならなかった部分に関しては新たな対策をしつつ、継続して努力を重ねていきたい。

環境経営方針・環境経営目標及び環境経営計画・実施体制も前期と同じく引き続き変更せず、根付かせ更なる結果へとつなげていく。

丸忠建工株式会社

代表取締役 鈴木 哲也

